

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学Ⅱ				
教科	数学科	単位数	3単位	学年・コース	高校2年 特別選抜(理系)
使用教科書	数研出版 高等学校 数学Ⅱ				
副教材等	数研出版 教科書傍用 4プロセス 数学Ⅱ+B				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 基礎的な知識の習得と技能の習熟
- ② 事象を数学的に考察する能力
- ③ 数学の良さを認識でき、それらを活用する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1章 式と証明	確認テスト7回	10月		2学期中間考査
5月	第2章 複素数と方程式	確認テスト7回 1学期中間考査	11月	第5章 指数関数と 対数関数	確認テスト15回
6月	第3章 図形と方程式	確認テスト10回	12月	第6章 微分法と積分法	確認テスト10回
7月		1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	第4章 三角関数	確認テスト13回	3月		3学期期末考査

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度
上記の3観点のA, B, Cの組み合わせから5段階評定を算出します

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

定期考査：70～80% 問題ごとに①, ②の観点が設定される
平常点 : 20～30% 授業態度, 小テスト, 提出物の状況で③を評価する

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学Ⅱ				
教科	数学科	単位数	4単位	学年・コース	高校2年 特別選抜(文系)
使用教科書	新編 数学Ⅱ(数研出版)				
副教材等	3Trial 数学Ⅱ+B (数研出版)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明	ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト	10月	Ⅱ 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト 2学期中間考査
5月	Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	ノート提出・確認テスト 1学期中間考査 ノート提出・確認テスト	11月	Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト
6月	Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線	ノート提出・確認テスト	12月		2学期期末考査
7月		1学期期末考査	1月	Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト
8月			2月		
9月	第2節 円 第3節 軌跡と領域	ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト	3月		学年末考査

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|-------------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査、小テスト |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査、小テスト |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [課題提出 |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学Ⅱ(選択)				
教科	数学科	単位数	2単位	学年・コース	高校2年 アスリート
使用教科書	最新 数学Ⅱ (数研出版)				
副教材等	パラレルノート数学Ⅱ (数研出版)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

数学的な見方、考え方を働かせ、数学的活動を通じて、数学的に考える資質、能力を育成する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1章 式と証明 第1節 式と計算	提出物等	10月	第5章 指数関数と対数関数	2学期中間考査
5月	第2節 等式、不等式の証明	提出物等 1学期中間考査	11月	第6章 微分法と積分法 第1節 微分法	提出物等
6月	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	提出物等	12月		2学期期末考査
7月	第2節 高次方程式 第3章 図形と方程式	提出物等 1学期期末考査	1月		提出物等
8月			2月	第2節 積分法	提出物等
9月	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	提出物等	3月		3学期期末考査

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度
なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします ①知識・技能 [定期考査の結果] ②思考・判断・表現 [定期考査の結果] ③主体的に学習に取り組む態度 [課題の提出状況(問題集・プリント), 授業態度, 小テストの結果]
年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学Ⅱ・数学B				
教科	数学科	単位数	4・2単位	学年・コース	高校2年 進学(理系)
使用教科書	新編 数学Ⅱ(数研出版)、新編 数学B(数研出版)				
副教材等	3Trial 数学Ⅱ+B (数研出版)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	Ⅱ 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明	ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト	10月		2学期中間考査
5月	B 第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法	ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト 1学期中間考査 ノート提出・確認テスト	11月	Ⅱ 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数	ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト
6月	Ⅱ 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト	12月	第1節 指数関数 第2節 対数関数	ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト 2学期期末考査
7月		1学期期末考査	1月	Ⅱ 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト
8月			2月	B 第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測	ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト 学年末考査
9月	Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト ノート提出・確認テスト	3月		

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|-------------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査、小テスト |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査、小テスト |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [課題提出 |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学B				
教科	数学科	単位数	2単位	学年・コース	高校2年 特別選抜(理系)
使用教科書	数研出版 高等学校 数学B				
副教材等	数研出版 教科書傍用 4プロセス 数学Ⅱ+B				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 基礎的な知識の習得と技能の習熟
- ② 事象を数学的に考察する能力
- ③ 数学の良さを認識でき、それらを活用する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	1年次特選コースだった生徒は、第1章数列の前半部分を履修済みです。 1年次進学コースだった生徒に、補講をおこなうため4月中は数学Bの時間で数学Ⅱの内容を行います		10月	数学C 第1章 平面上のベクトル 1 ベクトル 2 ベクトルの演算	2学期中間考査
5月	第1章 数列 5 和の記号 Σ 6 階差数列	確認テスト11回	11月	3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 5 位置ベクトル	
6月	8 いろいろな数列の和 9 漸化式 10 数学的帰納法		12月	6 ベクトルの図形への応用	
7月		1学期期末考査	1月	7 図形のベクトルによる応用	2学期期末考査
8月			2月	数学C 第2章 空間のベクトル 1 空間の点 2 空間のベクトル 3 ベクトルの成分 4 ベクトルの内積 5 ベクトルの図形への応用	
9月	第2章 確率変数と確率分布		3月	6 座標空間における図形	3学期期末考査

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度
上記の3観点のA, B, Cの組み合わせから5段階評定を算出します

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします

定期考査：70～80% 問題ごとに①, ②の観点が設定される
平常点 : 20～30% 授業態度, 小テスト, 提出物の状況で③を評価する

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学研究(選択)				
教科	数学科	単位数	2単位	学年・コース	高校2年 進学(文系)
使用教科書	なし				
副教材等	なし				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

共通テスト対策問題を解くことで数学 I Aの内容を復習するとともに理解を深める。
--

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	数学 I 第1章 式と計算 第2章 集合と命題		10月		
5月	第3章 2次関数		11月	第5章 データの分析	
6月			12月		小テスト 提出物 第4回定期考査
7月		小テスト 提出物 第2回定期考査	1月	数学A 第1章 場合の数と確率	
8月			2月	第2章 図形の性質	
9月	第4章 図形と計量		3月		小テスト 提出物 第5回定期考査

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度 なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします ① 知識・技能 [定期考査 ② 思考・判断・表現 [定期考査 ③ 主体的に学習に取り組む態度 [小テスト、提出物
年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します